

2 世帯外の人からの仕送りなどの経済的な援助などの状況について教えてください。

この減免を受けるためには、世帯の外の「市町村民税が課されている人」から、仕送りなどの経済的な援助を受けていないことが必要です（仕送りなどの経済的な援助を受けていても、その援助している人が「市町村民税が非課税」であれば、かまいません。）。

つまり、次の「●あなたの世帯が受けている経済的な援助などの状況(扶養の状況)」において、右端の市町村民税の状況の「課税」に1つでも○が入る場合は減免の対象にはなりませんので、よく確認して申請してください。

● あなたの世帯が受けている経済的な援助などの状況(扶養の状況)

経済的な援助などの項目	経済的な援助などの状況 ※該当に○	経済的な援助などをしている人の住所、氏名、続柄等			
		氏 名	住 所	続 柄	市町村民税
(1) あなたの世帯への仕送り	1 あり ⇒ 仕送りをしている人の氏名等を記載してください 2 なし				(該当に○) ・課税 ・非課税
(2) 市町村民税であな た又は世帯員の扶養 者となっている人	1 あり ⇒ 市町村民税での扶養者の氏名等を記入してください 2 なし 不明				(該当に○) ・課税 ・非課税
(3) 健康保険の保険証 の名義人	1 あなた以外・世帯員以外 ⇒ 健康保険の保険証の名義人の氏名等を記入してください 2 あなた又は世帯員				(該当に○) ・課税 ・非該当
(4) 住居の名義人(所 有名義・賃貸名義)	1 あなた以外・世帯員以外 ⇒ 住居の名義人の氏名等を記入してください 2 あなた又は世帯員				(該当に○) ・課税 ・非課税
(5) 公共料金(電気・ ガス・水道)を負担 している人	1 あなた以外・世帯員以外 ⇒ 公共料金を負担している人の氏名等を記入してください 2 あなた又は世帯員				(該当に○) ・課税 ・非課税

次の①②③のいずれかにあてはまりますので、よく読んで④を記入してください。

<p>① 上の(1)～(5)で、「経済的な援助などの状況」の回答が全部「2」に○の人</p> <p>上の(1)～(5)の内容について、次の人に下の④アについての確認と記入をしてください。</p> <p>・生計が別の親族 (特別養護老人ホームに入所中で、施設から確認を受けることができる場合は、特別養護老人ホームの施設長・事務長でも可) ※ 申し出る人がいない場合は、下の④イに減免申請者名を記入してください。</p>	<p>② 上の(1)～(5)で、「経済的な援助などの状況」の回答に1つでも「1」に○があり右欄に記入した人がすべて市町村民税非課税の場合</p> <p>上の(1)～(5)の右欄に記入した「非課税」の人に下の④アについての確認と記入をしてください。(2人以上いる場合はいずれか1人) ※ 遠隔地等で④アを記入してもらえない場合は、下の④イの欄に減免申請者名を記入してください。</p>	<p>③ 上の(1)～(5)のうち右端の市町村民税の状況の「課税」に1つでも○が入る場合</p> <p>あなたの世帯は、市町村民税が課税されている人に扶養されていることになりませんので、減免対象者にはなりません。</p>
--	---	--

④確認書(必ず次のア又はイに記入があることが必要です)	
必ず記入してください	<p>ア 【経済的に援助している人の内容確認欄】 上記(1)～(5)の扶養状況の申告に相違ないことを確認いたしました。 (市町村民税非課税の税務部局への照会の同意を兼用。)</p> <p>住所 本人との関係 (特別養護老人ホーム施設名)</p> <p>.....</p> <p>氏名 電話番号 ()</p> <p>.....</p>
	<p>イ 【申し出る人がいない場合、又はアの記入がもらえない場合の申立て】 上記(1)～(5)の扶養状況の申告に相違ないことを再確認します。 事実と異なることが判明した場合は、減免を取り消されても異議ありません。</p> <p>減免申請者</p>